【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】令和6年9月3日(2024.9.3)

【国際公開番号】WO2023/132322
【出願番号】特願2023-572469(P2023-572469)
【国際特許分類】
B23B 27/14(2006.01)
【FI】
B23B 27/14 C

【手続補正書】
【提出日】令和6年6月21日(2024.6.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
先端から後端に向かって中心軸に沿って延びた棒形状の第１部位と、
前記先端から前記中心軸に直交する方向に突出した第２部位と、を有し、
前記第２部位は、
正面視した場合に三角形状であって、
前記第１部位から突出した第１角と、
前記第１角から前記第１部位に向かって延びた第１辺と、
前記第１角から前記第１部位に向かって延びるとともに前記第１辺よりも前記後端の近くに位置する第２辺と、を有する上面と、
前記第１角、前記第１辺及び前記第２辺の少なくとも一部に位置する切刃と、
前記上面よりも前記第１部位の近くに位置し、前記上面から離れるにしたがって上方に向かって傾斜した立ち上がり面と、
前記立ち上がり面よりも前記第１部位の近くに位置する上端面と、
前記上面及び前記立ち上がり面の間に位置して、前記上面及び前記立ち上がり面に接続された凹曲面形状の接続面と、を有し、
前記上端面に直交するとともに前記第１角の二等分線を含む断面において、前記上面の仮想延長線及び前記立ち上がり面の仮想延長線が鋭角に交わる、切削インサート。
【請求項２】
前記立ち上がり面の幅が、前記第１辺から離れ前記第２辺に近づくにしたがって大きくなる、請求項１に記載の切削インサート。
【請求項３】
前記上面及び前記立ち上がり面が、それぞれ平らである、請求項１に記載の切削インサート。
【請求項４】
前記断面において、前記接続面が楕円弧形状であって、
前記接続面の曲率半径の最大値が、前記立ち上がり面の幅よりも大きい、請求項３に記載の切削インサート。
【請求項５】
第１端から第２端に向かって延びた棒形状であって、第１端に位置するポケットを有するホルダと、
前記ポケットに位置する、請求項１から４のいずれか１項に記載の切削インサートと、

を備える、切削工具。
【請求項６】
被削材を回転させる工程と、
回転している前記被削材に請求項５に記載の切削工具を接触させる工程と、
前記切削工具を前記被削材から離す工程と、を備える、切削加工物の製造方法。